

令和5年度 総合教育会議 レジюме

1 本市小中学校教職員の勤務実態状況について【資料1】

- ・ 市の平成30年度と令和4年度を比較すると、小中学校とも平均超過勤務時間は減少。これまでの取組みの成果は一定みられるが、依然厳しい状況。

2 教職員の日【資料2】

- ・ 小学校教員：学級担任がほとんどの授業を受け持つ。低学年25～27コマ、高学年29コマ。高学年を中心に専科指導を進めているためコマ数は軽減されている。
- ・ 中学校教員：教科担任制。持ち時間数はおおよそ週20時間程度。部活動顧問も受け持つ。空き時間は、別室指導や生徒指導対応等に関わることも多い。

3 教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策(R5.8.28)

【資料3-1】

- ・ 学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進【資料3-2】
- ・ 学校における働き方改革の実効性の向上
- ・ 持続可能な勤務環境整備等の支援の充実

4 市の取組について

- ・ 「働き方改革」体系図【資料4-1】
- ・ 働き方改革の具体的な取組【資料4-2】

5 今後に向けて

- ・ 学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進
- ・ 首長部局との連携、保護者、地域への理解・協力の依頼
- ・ 人的配置の充実
- ・ 困難事案への相談機能体制の充実